



※写真は旧製品です 実際の製品仕様と異なる場合があります レールは付属しません

タキ1000 オイルターミナル

SCALE
1/80
GAUGE
16.5mm

◆実車ガイド

- ・タキ1000形は1993年に登場した最高速度95km/hでの走行を可能としたタンク車で、2021年12月には製造数が1000両を超え、現代のタンク車の主力として活躍しています
- ・日本オイルターミナルの所有車は車体全体が青色に塗装されているのが特徴で、主に関東から甲信越・東北方面へのガソリン輸送に使用されています

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ・日本オイルターミナルロゴは印刷済み
- ・タンク体の溶接ラインが変更された後期型を再現
- ・車番・常備駅は選択式で転写シート付属
- ・車体標記類は印刷済み
- ・小径車輪採用
- ・反射板付属
- ・出荷状態でR490走行可能予定(S字線形除く)
- ・＜特記事項＞
- ・＜HO-732＞は生産中止となります

品番	HO-733	品名	私有貨車 タキ1000形(日本オイルターミナル)	セット両数	1 両
発売月	2026年4月	JANコード	4543736967330	予価	¥6,600 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	235 × 85 × 50mm	パッケージ形態	紙箱

日本オイルターミナル株式会社商標使用許諾済

あつめて楽しいタキ1000形

青いボディが特徴の日本オイルターミナルのタキ1000形、その活躍エリアとタキ1000形をけん引する機関車をご紹介します！

中央本線でのけん引に活躍



EH200

南松本

倉賀野

宇都宮

貨物ターミナル

川崎貨物駅

蘇我

東北方面への列車のけん引に活躍



EH500

関東エリアでのけん引に活躍



EF210



2010年代までは高崎/愛知機関区のEF64-1000も使用されました

※使用路線やけん引機・編成は2025年8月現在の情報を基に簡略的に示したものです
実際と異なる場合がありますのでご了承ください

かつては左図の区間のほか盛岡貨物ターミナル～陸前山王(仙台北港)の運用も存在しました



当時のけん引機はED75形で、タキ1000はJOT車も編成にいました

※製品のモデルとなったグループの登場前にこの運用は消滅していますが
雰囲気としてお楽しみください

こんな編成もありました…



EF66-100(EF64-1000・EF210・EH200も○) + コキ数両
+ タキ1000(OT + JOT)

検査後の試運転では様々な貨車との連結が見られました
お手元の貨車ともご一緒にお楽しみください

2026年4月再生産のお知らせ

SCALE
1/80
GAUGE
16.5mm

エンジン色が特徴のJR貨物コンテナ。 V19B・19D-42000・20Dを再生産！

V19B



19D-42000



20D増備型



※今回納品分より＜HO-3109・3135・3139＞は新価格となります

品番	HO-3109	品名	JR V19B形通風コンテナ(3個入)	再生産	予価	¥3,300 (税込)
発売月	2026年4月	JANコード	4543736531098	パッケージ形態	紙箱	
原産地	中国	パッケージサイズ	80 × 166 × 40mm	パッケージ形態	紙箱	
品番	HO-3135	品名	JR 19D-42000形コンテナ(3個入)	再生産	予価	¥3,300 (税込)
発売月	2026年4月	JANコード	4543736531357	パッケージ形態	紙箱	
原産地	中国	パッケージサイズ	80 × 166 × 40mm	パッケージ形態	紙箱	
品番	HO-3139	品名	JR 20D形コンテナ(増備型・3個入)	再生産	予価	¥3,630 (税込)
発売月	2026年4月	JANコード	4543736531395	パッケージ形態	紙箱	
原産地	中国	パッケージサイズ	80 × 166 × 40mm	パッケージ形態	紙箱	

JR貨物承認済

TOMIX

2025.10.9発信

©TOMYTEC ※製品は、実車の型式・仕様とは異なる場合がありますのでご了承ください。 ※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。